

会議録

会議の名称	令和８年度第１３回西東京市立田無第三中学校建替協議会
開催日時	令和８年８月２４日(月曜日)午前１０時００分から
開催場所	田無第二庁舎４階会議室
出席者	【委員】 大久保会長、高橋副会長、阿部委員、池之上委員、曾我部委員、本田委員、橋爪委員、藤江委員 （欠席）加藤委員、瀬沼委員、大森委員、伊藤委員 【事務局】 飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 浅水教育企画課企画調整係主査、記内教育企画課企画調整係主事 佐藤公共施設マネジメント課長、陸名公共施設マネジメント課長補佐 造賀公共施設マネジメント課マネジメント係主事 【傍聴人】 ０人
議題	議題１ 委員の依頼 議題２ 教育長あいさつ 議題３ これまでの取組について 議題４ 令和８年度建替協議会検討スケジュールについて 議題５ 新校舎の規模・敷地内配置について 議題６ その他
会議資料の名称	資料１ 西東京市立田無第三中学校建替協議会委員名簿 資料２ これまでの建替協議会での検討について 資料３ 学校施設個別施設計画 令和７年度修正概要 資料４ 令和８年度田無第三中学校建替協議会検討スケジュール 資料５ 田無第三中学校施設配置比較表 参考資料 田無第三中学校周辺エリア構想
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録 録
会議内容	
＜開会＞ 議題１ 委員の依頼 教育長から依頼状を交付 議題２ 教育長あいさつ 議題３ これまでの取組について ○事務局 （資料２、３について説明） ○委員 資料３のＰ．２の一段落目「建替時の仮設施設については整備しないことが望まし	

い」とあるが、仮設施設とは、建替工事中に生徒が学習する場所との認識で合っているか。

○事務局

建替時に旧校舎と同じ位置に新しい校舎を建てる場合、生徒たちは一時的に退避しなければならない。敷地内に一時的に設置されるそのような施設を仮設施設と呼んでいる。

○委員

生徒は、すべてその施設で学習するとの認識でよいか。

○事務局

お見込みのとおり。

○委員

資料3のP.3の建替スケジュールについて、平準化の説明では、建設工事は単年度に2校までとしているが、令和14年度に建設工事が3つ重なってしまっているのはなぜか。

また、平準化について詳しく教えてほしい。

○事務局

平準化については、建替工事の2年目以降が単年度に2校までとなるように調整することとしている。

建替工事は3か年かかるものとしているが、2年目以降の財政負担が大きくなっていくことから、平準化の考え方を2年目以降としている。なお、1年目は、比較的財政負担が小さいと考えている。

令和14年度の建設工事の重複については、田無第三中学校が建替工事2年目、保谷第一小学校が建替工事3年目、保谷小学校が建替工事1年目のため、保谷小学校は平準化の中で考慮しないことになる。

これは、学校施設個別施設計画の中で建替スケジュールを検討するうえでのルールとしている。

○委員

2年目だけが財政負担が大きくなるのか、それとも3年目も含めて財政負担が大きくなるのか。

○事務局

2年目と3年目である。

議題4 令和8年度建替協議会検討スケジュールについて

○事務局

(資料4について説明)

○委員

資料4の第15回、第16回の会議の主な検討内容、子ども・教職員アンケートについて

ては、アンケートの対象は田無第三中学校とけやき小学校、田無小学校の3校になるのか。

○事務局

現時点では、小学生は対象とせず、田無第三中学校の生徒を対象とすることで検討している。

○委員

今通っている生徒は建替後に通わないが、自分が通うとしたらどういうものが良いかとの内容となるのか。

○事務局

まだ詳細な検討は進んでいないが、アンケートの質問としては、今通っている校舎の改善点やあると良い部屋やスペースなどを記載していただくようなことを想定している。

○委員

小学校を対象としない理由は、通ってもいないし、ネガティブな意見ばかり出てしまうからなのか。

○事務局

平面計画を検討している中で、内容によっては少し難しい部分が出てくるのではないかとこのところもあるため、対象者については事務局の中でも検討させていただき、第15回の時に皆様にご意見をいただければと考えている。

○委員

協議会の日程調整について、ある程度早めに決めていただきたい。

○副会長

以前基本コンセプトについてアンケートをしたと思うが、今回は平面計画を題材にするのか。何を題材にするかにより、先程委員より質問があったように中学生に聞くのか、小学生を含めて聞くのかになると考える。現状のイメージがあれば教えていただきたい。

また、市民参加手続について、基本計画の素案に対して行うことでよろしいのか。仮施設や基本設計について何うと相反するものも含め多角的な意見が出ると思う。現状どのような市民参加をイメージしているのか教えてほしい。

○事務局

子ども・教職員アンケートについては、建替協議会で検討する平面計画を題材としたアンケートを想定している。

○事務局

今まで学校単体での建替は何度かあったが、公共施設を複合化しての建替は初めての

ため、先進自治体の事例などを参考にしながら、アンケートをどういう形で取るのが望ましいかを検討していきたいと考えている。

また、市民参加については、西東京市市民参加条例に基づき検討し、加えて近隣や隣接する方々へ説明するタイミングや内容については、既に複合化した学校の建替えを行った自治体に住民参加をどう進めてきたかを伺いながら丁寧に進めていく。

○副会長

西東京市は、市民参加を大事にしている市だと思っている。これからどのように進めるか、最初の複合化する学校になるため、丁寧に考えていく必要があると考えている。

議題5 新校舎の規模・敷地内配置について

○事務局

(資料5について説明)

○事務局

今年3月に田無第三中学校周辺のエリア構想が策定され、策定過程で市民説明会が行われた。説明会の中で市民から敷地の拡充についての意見がでたことから、市長が現地を視察し、市長部局において敷地の拡充について検討をしていると伺っている。

敷地が拡充されると、施設配置や教室配置が変わっていくことになるため、10月に予定している建替協議会の際に改めて比較表や平面図について示し、ご意見をいただきたいと考えている。

○委員

敷地の拡充ができるようになった場合は、A案とC案どちらにもなる可能性があるとの認識でよいか。

また、A案では運動場は南側配置のため水はけがよいとしているが、関係ないと思う。田無第四中学校やけやき小学校と同様に日当たりは良いが、土等の問題で水はけが悪くなるため、必ず南側だからいいと言うのではなく、土等を水はけの良い構造にしていくよう計画していただきたいと考える。

○事務局

市長部局で検討が進められている状況のため、可能性が出てきた場合には、改めてどの案が良いのか建替協議会の皆様に相談し、検討を進めていこうと考えている。

○事務局

校庭の水はけについて、現在の校庭を考えると、舗装材や土や砂の材料等の品質や不陸の状態であることも要因のひとつであると考えている。建替後については、南側、北側どちらの校庭でも舗装材は、水はけや砂埃に対応できるものを選定していく。また、現在の不陸状態については、建替後に校庭整備をすれば解決されと考えている。

A案は校庭が南側にあるため、日当たりがいいと考えられるが、B案、C案の可能性が出てきた際には、日当たり等を考慮しながら校庭の舗装等について意見をいただきたいと考えている。

○委員

現状では、A案の方針ということであるが、地域動線と生徒動線について、A案は、北側に2つの動線が重なると図で示されているが、例えばセキュリティの関係で動線を分けるとすると、生徒は主に南側の2箇所のどちらかまたは両方から出入りすることになると考えられるが、東側の鎌倉街道をマップで見るとかなり狭く、歩道が十分確保されないのではないかと考えられる。

通学路は、安全確保の観点からすると、横断歩道はあるが、信号機設置等も視野に入れて鎌倉街道側からの出入口をメインとするのか、あるいは、北側から通学を行うことになるのか、恐らく今後の検討になると思うが、もし今の段階での方針等あれば教えていただきたい。

○事務局

生徒動線、校門の位置については、敷地拡充の検討もあるため、今後どの案にするかによって変わってくると考えている。

また、鎌倉街道については、交通量等を含めて現状を認識しており、歩行空間の確保のための対策が必要であると考えている。

○委員

近隣への影響（完成後）について、北側の住宅地と距離が近くなってしまうとのことだが、校舎の高さ制限は問題ないのか。

○事務局

校舎の高さについて、昨年度の協議会の中で4階建てを想定している説明をしたが、そこから変更はない。実際の高さについては、法令順守の上で計画や設計を進めていく予定である。

議題6 その他

○事務局

（参考資料 田無第三中学校周辺エリア構想について資料提供）

○事務局

議事録については、昨年度同様に後日メールで送付させていただき、委員確認後に次回会議にて了承を得る予定である。

次回会議の日程については、先程委員よりいただいた意見を踏まえ調整させていただく。

○委員

教育長のあいさつの中でICTの活用という話があったが、新しい校舎には無線LANを導入してWi-Fiで賄うのか、アンテナを立て、分配していくのか、今後の議論に入れていければよいと考える。

また、田無第三中学校周辺エリア構想について、近隣にある東京文華高等学校と連携して話し合い等を行ったのか。

○事務局

策定することについては、話をしているが、具体的な話はしていない。今後エリア構想の実現に向けて連携していければと考えている。

○事務局

I C Tについて、ネットワークの構築、整備等に関しては、市内の学校全体でどう整備していくのか等、引き続き教育部内で連携を図り、検討していく。

○事務局

東京文華高等学校と連携について、資料で説明したとおり、どのパターンでも校庭の使用制限というところが想定される。その場合、施設の借用というところでの協力をいただく可能性があるため、今後調整をしていく予定である。

<閉会>